



株式会社インフォマート
2018年12月期
第3四半期決算

2018年10月31日

東証一部 (2492)



I. インフォマートについて	… P1
II. 2018年12月期 第3四半期決算	… P5
III. 2016-2018年12月期 中期経営計画	… P12
IV. 株主還元について	… P15

I . インフォマートについて

会社概要

- 会社名 株式会社インフォアート（東証一部：2492）
- 代表者 代表取締役社長 長尾 収
代表取締役副社長 藤田 尚武
- 本社所在地 東京都港区海岸1-2-3 汐留芝離宮ビルディング13階
- 営業所 西日本営業所（大阪市淀川区西中島）
カスタマーセンター（福岡市博多区博多駅前）
- 設立 1998年（平成10年）2月13日
- 資本金 32億1,251万円（2018年9月末現在）
- 事業内容 BtoB（企業間電子商取引）プラットフォームの運営
- 連結子会社 株式会社インフォライズ
株式会社インフォアートインターナショナル
- 従業員数（連結） 456名（正社員403／派遣53）（2018年9月末現在）
- URL <https://www.infomart.co.jp/>

BtoB プラットフォーム

BtoBプラットフォームで、取引関係のある企業と企業を、社内を、ビジネスパーソンを、つないで結び、会社経営、ビジネススタイルを大きく変えるシステムを提供いたします。

そして、業界・国の垣根を越え、世界に広がるグローバルなBtoBインフラを構築します。



▼「BtoBプラットフォーム」が目指す世界を動画でご覧いただけます。
<http://www.infomart.co.jp/movie/>



□特徴

- 1.創業から21年 **BtoBプラットフォーム**に特化
- 2.多くの企業が同じ画面で取引先との日常業務に使える**クラウド型**システム
- 3.売上高の95%が月額システム使用料の**ストック型**収益モデル

□実績

国内最大級のBtoBプラットフォームを提供

企業数 (2018年9月末)

245,056社

事業所数 (2018年9月末)

598,367事業所

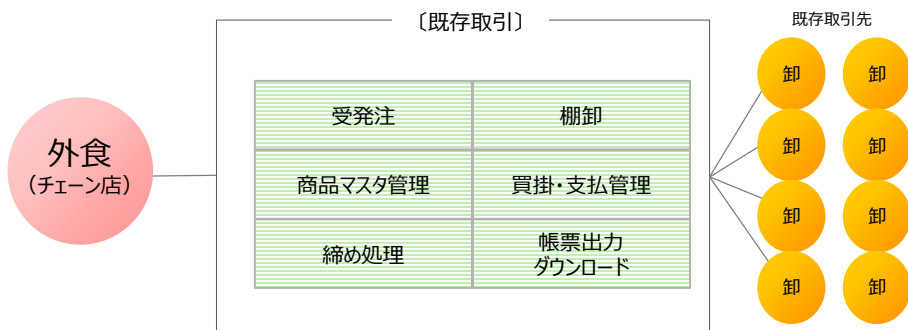
流通金額 (2018年1~9月)

5兆6,608億円

BtoBプラットフォームの概要

BtoBプラットフォーム 受発注

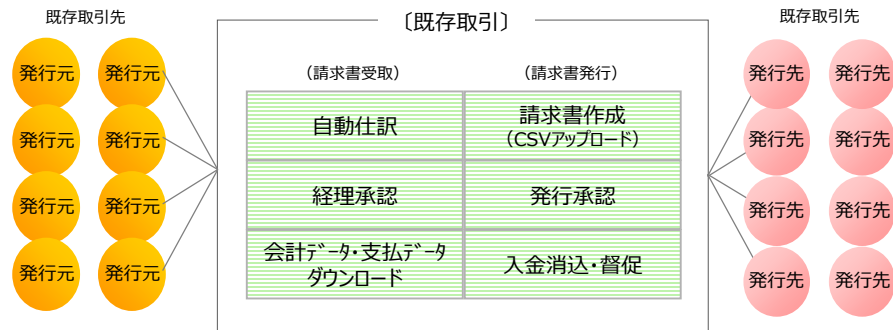
受発注・請求にかかわる各種業務が飛躍的に改善される受発注プラットフォーム



受発注・請求書業務を最適化

BtoBプラットフォーム 請求書

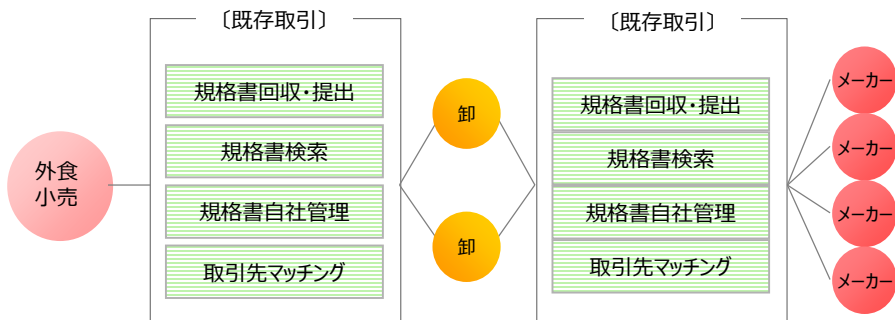
請求書業務のコスト削減・時間短縮・生産性向上を実現する電子請求書プラットフォーム



請求書の受取・発行を電子化

BtoBプラットフォーム 規格書

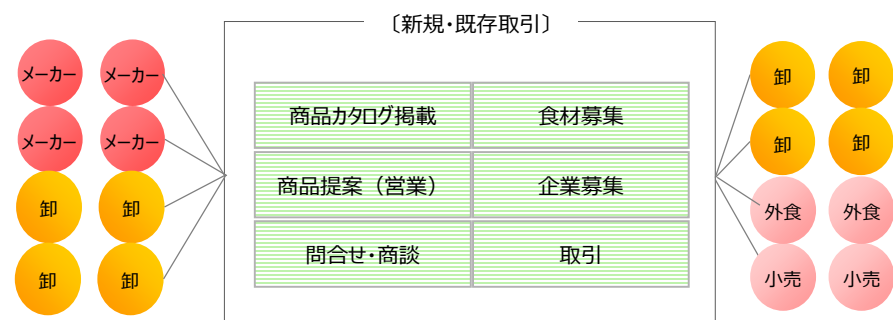
最新の法令や品質管理基準を網羅！フード業界で最も使われている規格書プラットフォーム



フード業界の「食の安心・安全」に貢献

BtoBプラットフォーム 商談

営業力・購買力・社内組織力を強化する、商談プラットフォーム



営業・購買スキームを大改革

Ⅱ. 2018年12月期 第3四半期決算

■ ニュースリリース

- | | |
|--------|--|
| 8月1日 | 2018年1月～6月期の「ECO実績」を発表 |
| 8月6日 | 「BtoBプラットフォーム 契約書」が「AI-CON」と協業 |
| 9月7日 | 「BtoBプラットフォーム 受発注」
買い手企業2,500社、50,000店舗を突破！ |
| 9月27日 | 最新のIT技術を活用したビジネスアイデア
「オープンイノベーションプログラム」の募集を開始しました |
| 10月11日 | 「BtoBプラットフォーム 請求書」利用企業数240,000社突破！ |
| 10月15日 | ジェイ・アイ・エム社との協業で「ドキュメントScanサービス」を開始 |
| 10月25日 | 軽減税率補助金 指定事業者認定 |

2018/12期 第3四半期 (前年同期比)

(単位: 百万円 / %: 前年比増減率)

	2018/1Q		2018/2Q		2018/3Q		2018/3Q累計	
	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比
受発注	1,082	12.2%	1,132	11.9%	1,149	8.5%	3,364	10.8%
規格書	336	8.5%	348	11.9%	354	10.4%	1,038	10.3%
ES	356	17.1%	385	27.4%	430	34.0%	1,171	26.3%
その他	23	27.7%	16	-6.6%	17	6.4%	57	9.7%
【売上高】	1,788	12.7%	1,871	14.6%	1,942	13.7%	5,602	13.7%
受発注	299	14.6%	308	12.1%	274	-2.2%	881	8.0%
規格書	104	19.3%	89	-7.0%	88	-11.2%	282	-0.3%
ES	218	32.6%	217	11.6%	232	-26.0%	667	-0.8%
その他	12	16.3%	11	2.0%	12	4.3%	36	7.4%
【売上原価】	626	21.8%	616	8.5%	598	-14.0%	1,841	3.6%
受発注	783	11.3%	824	11.8%	875	12.4%	2,482	11.8%
規格書	231	4.2%	258	20.3%	265	20.1%	756	14.8%
ES	137	-1.2%	168	56.1%	197	2654.4%	503	98.1%
その他	11	43.3%	4	-21.6%	5	12.2%	21	13.9%
【売上総利益】	1,162	8.3%	1,255	17.9%	1,343	32.8%	3,761	19.4%
受発注	325	35.8%	342	25.7%	325	7.4%	994	21.9%
規格書	99	26.1%	104	21.5%	98	8.9%	303	18.4%
ES	233	7.5%	265	6.3%	270	-0.5%	769	4.1%
その他	21	4.7%	20	7.4%	22	0.1%	64	3.9%
【販管費】	680	22.2%	733	16.8%	716	4.2%	2,131	13.8%
受発注	457	-1.4%	481	3.6%	550	15.5%	1,488	6.0%
規格書	132	-7.9%	154	19.6%	166	28.0%	453	12.5%
ES	-95	-	-97	-	-72	-	-265	-
その他	-10	-	-15	-	-17	-	-43	-
【営業利益】	481	-6.7%	521	19.3%	626	93.3%	1,630	27.6%
【経常利益】	465	-8.3%	526	20.9%	630	95.2%	1,622	28.1%
【親会社株主に帰属する当期純利益】	311	-8.7%	358	-	414	89.0%	1,084	9283.0%

売上高売上総利益率	65.0%	67.1%	69.2%	67.1%
受発注	42.3%	42.5%	47.9%	44.3%
規格書	39.3%	44.3%	47.0%	43.6%
売上高営業利益率	26.9%	27.9%	32.3%	29.1%
売上高経常利益率	26.0%	28.1%	32.4%	29.0%

□売上高

〔受発注事業〕

「BtoBプラットフォーム(BtoB-PF) 受発注 (外食と卸会社間)」の外食チェーン・ホテル等の買い手企業数とその取引先の食品卸等の売り手企業数が順調に増加し、システム使用料が増加しました。

〔規格書事業〕

「BtoB-PF 受発注」とのパッケージ販売により「BtoB-PF 規格書」の利用企業数が増加し、システム使用料が増加しました。

〔ES事業〕

「BtoB-PF 請求書」の受取モデル・発行モデルの有料契約企業数が増加し、その稼働と共にシステム使用料が増加しました。

□売上原価

3Qより過年度の大型システム開発のソフトウェア償却費が償却期間満了により順次減少し、また、今期のシステム開発投資を低減したことにより、ソフトウェア償却費が減少しました。

□販管費

主に事業拡大に必要な営業人員の増加等で人件費が増加しました。

□経常利益

システム使用料を中心とした売上高の増加が、販管費コストの増加を吸収し、増益となりました。

2018/12期 第3四半期 (計画比)

(単位:百万円 / %:前期比増減率)

	2018/1Q			2018/2Q			2018/3Q			2018/3Q累計		
	計画	実績	差異	計画	実績	差異	計画	実績	差異	計画	実績	差異
受発注	1,062	1,082	20	1,158	1,132	-26	1,269	1,149	-120	3,489	3,364	-125
規格書	338	336	-2	349	348	-1	363	354	-9	1,050	1,038	-12
ES	343	356	13	360	385	25	391	430	39	1,093	1,171	78
その他	29	23	-6	48	16	-32	40	17	-23	117	57	-60
【売上高】	1,762	1,788	26	1,905	1,871	-34	2,055	1,942	-113	5,721	5,602	-119
受発注	298	299	1	303	308	5	286	274	-12	886	881	-5
規格書	103	104	1	89	89	0	93	88	-5	286	282	-4
ES	194	218	24	200	217	17	207	232	25	601	667	66
その他	16	12	-4	18	11	-7	18	12	-6	52	36	-16
【売上原価】	604	626	22	603	616	13	597	598	1	1,804	1,841	37
受発注	764	783	19	855	824	-31	984	875	-109	2,602	2,482	-120
規格書	235	231	-4	260	258	-2	270	265	-5	764	756	-8
ES	148	137	-11	160	168	8	184	197	13	492	503	11
その他	12	11	-1	31	4	-27	22	5	-17	66	21	-45
【売上総利益】	1,157	1,162	5	1,303	1,255	-48	1,457	1,343	-114	3,916	3,761	-155
受発注	367	325	-42	363	342	-21	385	325	-60	1,115	994	-121
規格書	118	99	-19	113	104	-9	116	98	-18	348	303	-45
ES	250	233	-17	253	265	12	279	270	-9	781	769	-12
その他	22	21	-1	23	20	-3	23	22	-1	68	64	-4
【販管費】	754	680	-74	751	733	-18	801	716	-85	2,306	2,131	-175
受発注	397	457	60	491	481	-10	599	550	-49	1,488	1,488	0
規格書	117	132	15	147	154	7	153	166	13	417	453	36
ES	-101	-95	6	-93	-97	-4	-95	-72	23	-289	-265	24
その他	-10	-10	0	8	-15	-23	-1	-17	-16	-2	-43	-41
【営業利益】	402	481	79	552	521	-31	656	626	-30	1,610	1,630	20
【経常利益】	399	465	66	549	526	-23	653	630	-23	1,601	1,622	21
【親会社株主に帰属する当期純利益】	264	311	47	370	358	-12	437	414	-23	1,071	1,084	13

売上高売上総利益率	65.7%	65.0%	-0.7%	68.4%	67.1%	-1.3%	70.9%	69.2%	-1.7%	68.4%	67.1%	-1.3%
受発注	37.4%	42.3%	4.9%	42.4%	42.5%	0.1%	47.2%	47.9%	0.7%	42.6%	44.3%	1.7%
規格書	34.5%	39.3%	4.8%	42.1%	44.3%	2.2%	42.2%	47.0%	4.8%	39.7%	43.6%	3.9%
売上高営業利益率	22.8%	26.9%	4.1%	29.0%	27.9%	-1.1%	31.9%	32.3%	0.4%	28.1%	29.1%	1.0%
売上高経常利益率	22.7%	26.0%	3.3%	28.8%	28.1%	-0.7%	31.8%	32.4%	0.6%	28.0%	29.0%	1.0%

□売上高

〔受発注事業〕

「BtoB-PF 受発注 (外食と卸会社間)」は買い手新規稼働が順調に進み、システム使用料は計画通りでしたが、「BtoB-PF 受発注 (卸会社と食品メーカー間)」の利用企業数の増加が計画を下回りました。

〔規格書事業〕

「BtoB-PF 規格書」は、利用企業数の増加が計画を下回りました。

〔ES事業〕

「BtoB-PF 請求書」の新規契約数、既存有料契約企業の稼働によるシステム使用料の増加が計画を上回りました。

〔その他事業〕

子会社での自治体向けデータベース事業の新規契約数が計画を下回りました。

□販管費

主に人件費、販促費の未発生が差異となりました。

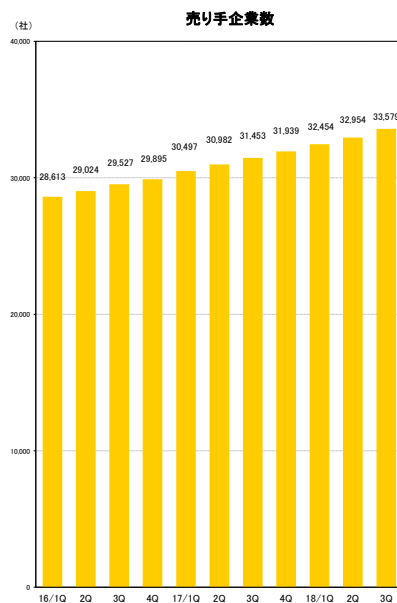
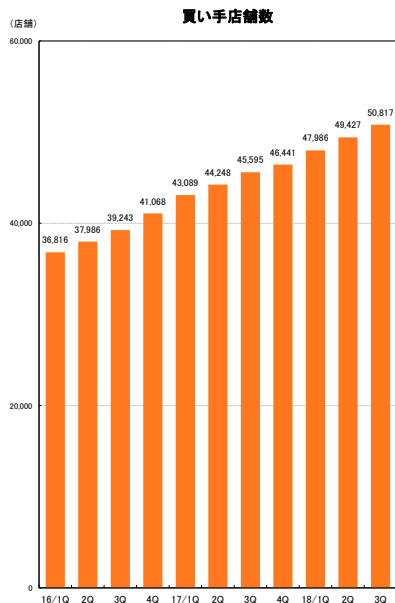
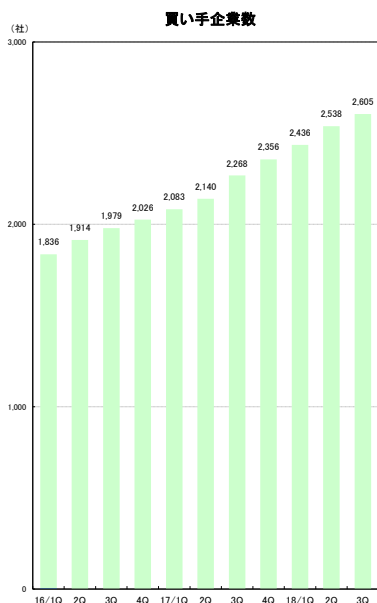
□経常利益

販管費の計画差異で計画を上回りました。

- ・「BtoB-PF 受発注（外食と卸会社間）」の買い手新規稼働は、外食チェーン、ホテルを中心に順調に推移。
- ・アライアンスパートナー（既存売り手企業・提携システム会社等）からの紹介案件も継続的に発生。
- ・「BtoB-PF 受発注（卸会社と食品メーカー間）」はサービスの立ち上げを推進し、649社が稼働。（2018年9月末時点）

(単位：社)

		2016/12期		2017/12期				2018/12期			
		4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	前期末比	1Q	2Q	3Q	前期末比
受発注 (外食-卸)	買い手企業数 (外食)	2,026	2,083	2,140	2,268	2,356	+ 330	2,436	2,538	2,605	+ 249
	売り手企業数 (卸)	29,895	30,497	30,982	31,453	31,939	+ 2,044	32,454	32,954	33,579	+ 1,640
受発注 (卸-メーカー)	買い手企業数 (卸)	-	-	6	15	36	+ 36	44	48	44	+ 8
	売り手企業数 (卸・メーカー)	-	-	69	187	387	+ 387	481	556	605	+ 218



【料金体系】

■ 受発注（外食-卸）

<買い手企業>

《月額システム使用料》

・本部：18,000円

・店舗：1,300円

《セットアップ費用》

300,000円～

<売り手企業>

《月額システム使用料》

(定額制・従量制を選択)

・定額制：30,000円

・従量制：月間取引金額の1.2%

(10万未満無料)

・ID追加：800円

■ 受発注（卸-メーカー）

<買い手企業>

《月額システム使用料》

・定額制：18,000円

・ID追加：2,000円

《セットアップ費用》

500,000円

<売り手企業>

《月額システム使用料》

(定額制・従量制を選択)

・定額制：100,000円

・従量制：月間取引金額の1.2%

(10万未満無料)

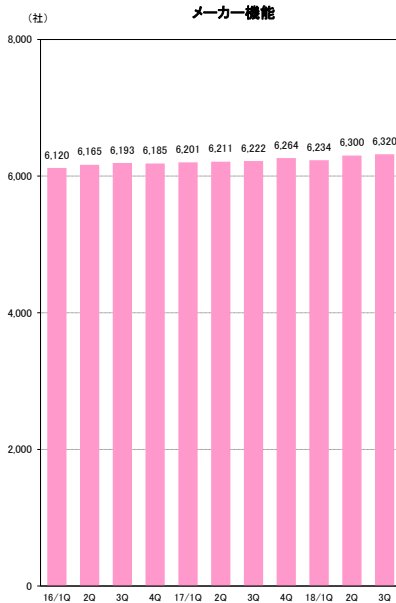
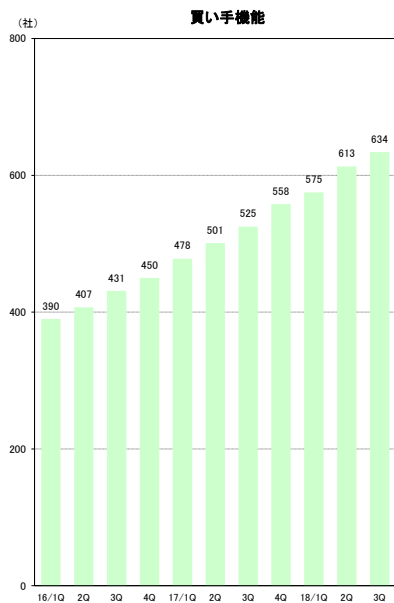
・ID追加：2,000円

※グラフの社数・店舗数は、各四半期末の数値です。

- ・ 食の安心・安全、アレルギー対応の意識の高まりから、買い手機能等の企業数が増加。
- ・ 受発注と規格書を連携させた「食の安心・安全 受発注」のパッケージ販売を推進。
- ・ 外食チェーンでのメニュー管理機能の活用が進む。

(単位: 社)

		2016/12期		2017/12期				2018/12期			
		4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	前期末比	1Q	2Q	3Q	前期末比
規格書	買い手機能 企業数	450	478	501	525	558	+ 108	575	613	634	+ 76
	卸機能 企業数	537	547	556	574	592	+ 55	602	601	610	+ 18
	メーカー機能 企業数	6,185	6,201	6,211	6,222	6,264	+ 79	6,234	6,300	6,320	+ 56



【料金体系】

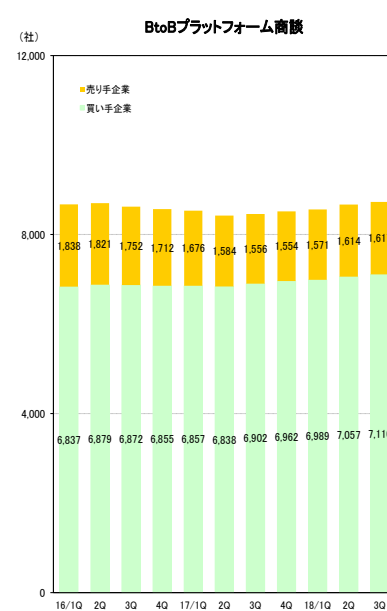
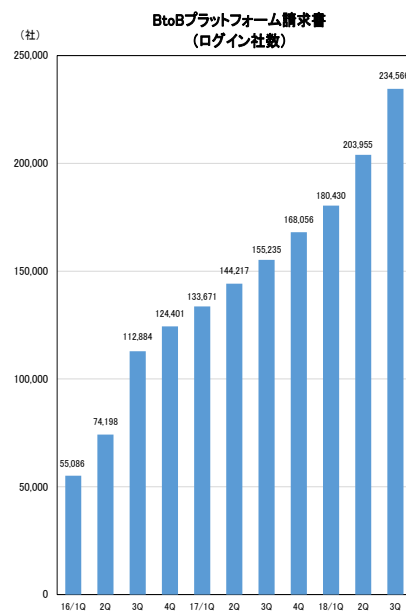
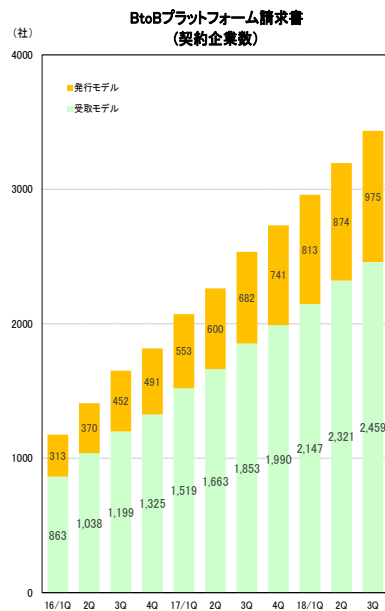
- 買い手機能
 - 《月額システム使用料》 50,000円
 - 《セットアップ費用》 300,000円～
- 卸機能
 - 《月額システム使用料》 35,000円
 - 《セットアップ費用》 50,000円～
- メーカー機能
 - 《月額システム使用料》
 - ・ 定額制: 35,000円 or 50,000円
 - ・ 従量制: 3,000円 ~ 20,000円
- メニュー管理機能
 - 《月額システム使用料》 7,000円
 - 《セットアップ費用》 50,000円～

※グラフの社数は、各四半期末の数値です。

- ・ 既存の有料契約企業の請求書電子化の推進により、ログイン社数が24万社を突破。（2018年10月）
- ・ 新規の有料契約は、フード業界以外にも医薬品卸売、アミューズメント業、金融業、IT、サービス業など他業界で順調に増加。
- ・ 販売管理・会計システムをはじめとした既存システムとのAPI連携を強化し、稼働を推進。

(単位：社)

		2016/12期		2017/12期				2018/12期			
		4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	前期末比	1Q	2Q	3Q	前期末比
請求書	有料契約数（受取モデル）	1,325	1,519	1,663	1,853	1,990	+ 665	2,147	2,321	2,459	+ 469
	（発行モデル）	491	553	600	682	741	+ 250	813	874	975	+ 234
	（合計）	1,816	2,072	2,263	2,535	2,731	+ 915	2,960	3,195	3,434	+ 703
	利用企業数	124,401	133,671	144,217	155,235	168,056	+ 43,655	180,430	203,955	234,566	+ 66,510
商談	買い手企業数	6,855	6,857	6,838	6,902	6,962	+ 107	6,989	7,057	7,110	+ 148
	売り手企業数	1,712	1,676	1,584	1,556	1,554	-158	1,571	1,614	1,617	+ 63



【料金体系】

BtoBプラットフォーム 請求書

■ 受取モデル

《月額システム使用料》

〔固定料金〕5,000円 + 〔従量料金〕 月間請求書受取通数

・50通までは固定料金に含む

・51～2,000通……………5,000円～95,000円

《セットアップ費用》 100,000円～

■ 発行モデル

《月額システム使用料》

〔固定料金〕5,000円 + 〔従量料金〕 月間請求書発行通数

・100通までは固定料金に含む

・101～1,000件通…40円 / 1通

・1,001通～……………30円 / 1通

《セットアップ費用》 300,000円～

BtoBプラットフォーム 商談

《月額システム使用料》

買い手企業 5,000円

売り手企業 25,000円

※グラフの社数・店舗数は、各四半期末の数値です。

Ⅲ. 2016-2018年12月期 中期経営計画

2018年12月期は、当中計の3年目(最終年度)になります。

テーマ		2017年度	2018年度まで
<p>フード業界の徹底的なシェア拡大</p> <p>－「BtoBプラットフォーム 受発注、規格書」の利用拡大</p>	<p>利用企業数</p> <p>システム取引高 (外食シェア)</p>	<p>4.3万社</p> <p>1.5兆円 (20%)</p>	<p>5万社</p> <p>2兆円 (30%)</p>
<p>電子請求プラットフォームのデファクト化</p> <p>－「BtoBプラットフォーム 請求書」の全業界展開</p>	<p>利用企業数</p> <p>システム取引高</p>	<p>17万社</p> <p>3.1兆円</p>	<p>30万社</p> <p>5兆円</p>
<p>BtoB電子商取引プラットフォームの構築</p> <p>－前期の調達資金をシステム開発へ重点投資</p>	<p>システム コンセプト</p>	<p>ASPシステムから BtoBプラットフォームへ変更</p>	<p>全業界対応 BtoB プラットフォーム</p>

2018/12期 利益計画（連結業績予想）

(単位:百万円 / %:前期比増減率)

	2017年12月期（実績）		2018年12月期（計画）	
	通期	前期比	通期	前期比
受発注	4,127	10.6%	4,887	18.4%
規格書	1,268	9.6%	1,423	12.2%
ES	1,278	5.6%	1,528	19.6%
その他	76	-20.2%	165	117.1%
【売上高】	6,709	9.0%	7,965	18.7%
受発注	1,102	25.9%	1,126	2.2%
規格書	386	54.9%	381	-1.3%
ES	899	34.3%	799	-11.1%
その他	49	-12.3%	71	44.9%
【売上原価】	2,398	32.2%	2,351	-2.0%
受発注	3,024	6.0%	3,760	24.3%
規格書	882	-2.9%	1,041	18.0%
ES	379	-30.0%	729	92.3%
その他	26	-31.3%	94	261.5%
【売上総利益】	4,310	-0.7%	5,614	30.3%
受発注	1,111	27.6%	1,506	35.6%
規格書	344	-42.8%	458	33.1%
ES	1,000	20.0%	1,053	5.3%
その他	89	13.3%	93	4.5%
【販管費】	2,544	6.8%	3,102	21.9%
受発注	1,913	-3.5%	2,255	17.9%
規格書	537	75.1%	584	8.8%
ES	-621	-	-324	-
その他	-62	-	1	-
【営業利益】	1,765	-9.8%	2,512	42.3%
【経常利益】	1,751	-10.0%	2,500	42.8%
【親会社株主に帰属する当期純利益】	384	-68.1%	1,674	335.9%
売上高売上総利益率	64.2%		70.5%	
受発注	46.4%		46.1%	
規格書	42.4%		41.0%	
売上高営業利益率	26.3%		31.5%	
売上高経常利益率	26.1%		31.4%	

□売上高

〔受発注事業〕

引き続き「BtoB-PF 受発注（外食と卸会社間）」が、外食チェーン、ホテルを中心に利用が拡大し、また、新システム「BtoB-PF 受発注（卸会社と食品メーカー間）」の稼働が進む見通しです。

〔規格書事業〕

フード業界での食の安心・安全、アレルギー対応の意識の高まりを背景に「BtoB-PF 規格書」の各機能の利用企業数が堅調に増加する見通しです。

〔ES事業〕

「BtoB-PF 請求書」の既存有料契約企業における請求書の電子化が進み、また、新規有料契約企業数が増加する見通しです。

□売上原価

過年度の大型システム開発投資（次世代PFの開発）のソフトウェア償却費が償却期間満了により順次減少すること及び前期までの2年間のシステム開発強化が完了し、2018年12月期のシステム開発投資額を低減する計画から、ソフトウェア償却費が減少する見通しです。

□販管費

事業拡大に必要な営業及び営業サポート人員の補強等による人件費、利用企業数増加に向けた販売促進費等が増加する見通しです。

□経常利益

システム使用料を中心とした売上高の増加と売上原価の低減により増益となる見通しです。

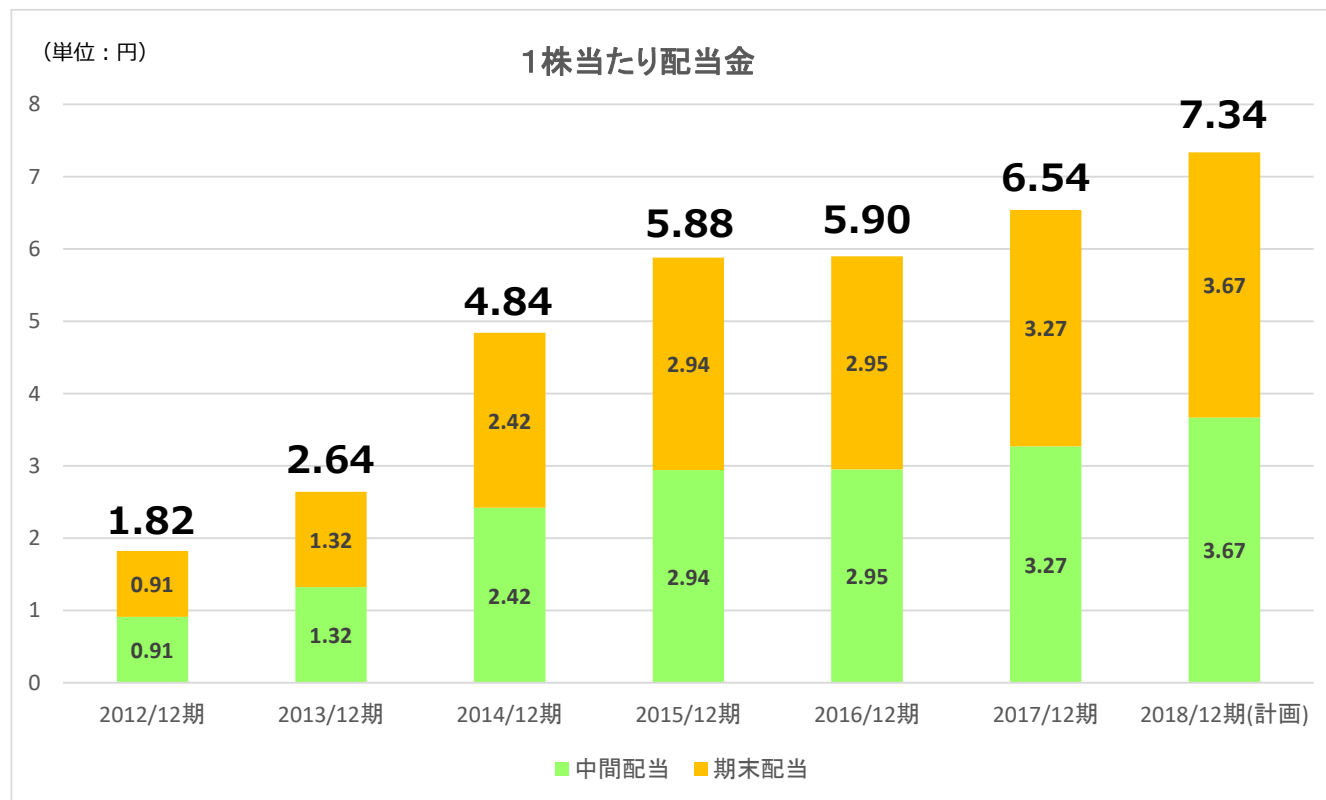
□当期純利益

前期に発生した多額の特別損失（減損損失）の発生を見込まないことから、大幅な増益となる見通しです。

IV. 株主還元について

株主様への利益還元

当社は、株主の皆様への配当金が最も重要な還元と考え、経営成績の向上及び財務体質の強化を図りつつ、「インフォマートの個別業績に基づく基本配当性向 50%」を配当の基本方針としております。



※2018/12期中間配当金は、2018年7月31日開催の取締役会で決議いたしました。(効力発生日：2018年9月10日)

※2013年1月1日付で株式1株につき200株の株式分割、2013年7月1日付で株式1株につき2株の株式分割、2014年1月1日付で株式1株につき2株の株式分割、2015年1月1日付で株式1株につき2株の株式分割、2017年1月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。
グラフ中の配当金は当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。



2020年までに

あらゆる業界にB to Bプラットフォームを提供し、

グローバルなB to B インフラ企業を目指します。

当資料に記載された内容は、2018年10月31日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により予告なしに変更される可能性があります。

投資に際しての最終的な判断は、お客様自身がなされるよう、お願いいたします。

本資料は株式会社インフォーマートによって作成されたものです。